

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第11週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,087人（定点あたり52.7）で、前週比115%と増加した。

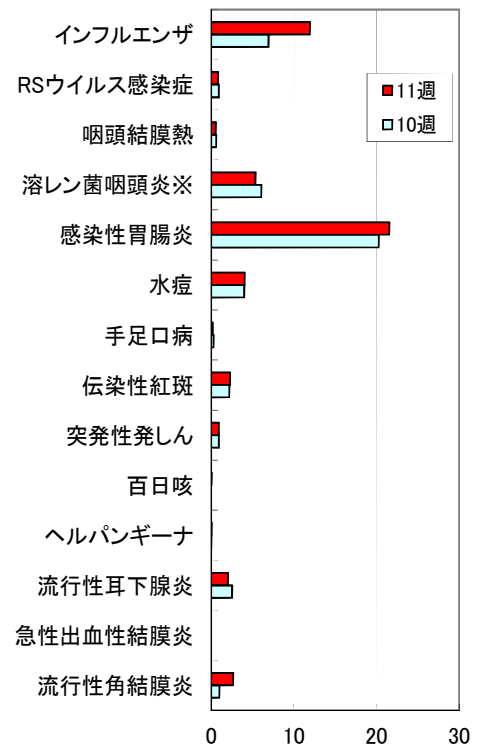
前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は705人（12.0）で前週比172%と増加した。中央（30.0）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の19%、6-9歳が42%、10-14歳が32%、15-19歳が3%、20-50歳代が3%、60歳以上が1%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は776人（21.6）で前週比106%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（17.3）の約1.2倍である。県全体で警報レベルを超えており、小林（49.0）、日南（30.0）、都城（29.3）保健所からの報告が多かった。年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。患者は70歳代の女性で、原因菌は *Chlamydomphila pneumoniae* であった。

《前週との比較》



《定定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	12.0	中央(30.0)	5歳以下が全体の19%、6~9歳が42%、10~14歳が32%、15~19歳が3%、20~50歳代が3%、60歳以上が1%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	5.4	延岡(20.3)、日南(8.3)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
感染性胃腸炎	20	21.6	小林(49.0)、日南(30.0)、都城(29.3)、高鍋(20.3)	1歳~3歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	4.1	高鍋(8.8)	1歳~4歳で全体の約8割を占めた。全て8歳以下の報告であった。
伝染性紅斑	2	2.3	高鍋(4.8)、宮崎市(4.1)、高千穂・中央(各2.0)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.0	日南(9.0)	4歳~7歳で全体の約半数を占めた。

- 感染性胃腸炎の集団発生（平成 23 年 3 月 14 日～平成 23 年 3 月 20 日まで）
感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 5 例が都城（2 例）、宮崎市・延岡・日南（各 1 例）保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳がみられた。
《都城保健所》・70 歳代の男性でその他の結核（皮膚結核、頸部リンパ節結核）。皮疹、皮下結節、リンパ節腫大がみられた。
・10 歳代の女子で無症状病原体保有者。
《延岡保健所》・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。
《日南保健所》・80 歳代の男性で肺結核。痰、倦怠感がみられた。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例が都城・小林保健所から報告された。
《都城保健所》・40 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は 091（VT1 産生）。
《小林保健所》・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は 091（VT1 産生）。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：破傷風 1 例が都城保健所から報告された。60 歳代の女性で筋肉のこわばり、発語障害、強直性痙攣、易興奮性、反弓緊張、頸部硬直がみられた。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

- ウイルス（平成 23 年 3 月 8 日～平成 23 年 3 月 22 日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザAH3型	5	男	3.2	インフルエンザ、急性脳症疑い、39.2℃、熱性けいれん、意識障害	咽頭ぬぐい液	3.8
インフルエンザAH3型	7	女	3.5	インフルエンザ、40.3℃、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	3.8
インフルエンザAH3型	9	女	3.5	インフルエンザ、39.5℃、気管支炎、嘔気、嘔吐	咽頭ぬぐい液	3.8
インフルエンザAH3型	3	男	3.7	インフルエンザ、39.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	3.8
インフルエンザB型	8	女	3.7	インフルエンザ、38℃、悪心、気分不良	鼻腔ぬぐい液	3.8
ヒトメタニューモウイルス	1	女	3.6	重症肺炎、40℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	3.8
ヒトメタニューモウイルス ヒトラノウイルス	1	女	3.12	重症肺炎、気管支喘息発作、40℃、下気道炎、喘鳴	咽頭ぬぐい液	3.15
インフルエンザB型	8	男	3.8	インフルエンザ、39℃	鼻汁	3.15

インフルエンザはリアルタイムPCR法で検出

ヒトメタニューモ・ヒトラノはPCR法で検出

○重症肺炎、気管支喘息を示す幼児2名からヒトメタニューモウイルスが検出された。このうち1名からはヒトラノウイルスも検出された。ヒトメタニューモウイルス感染症は冬から春にかけて流行し、急性呼吸器症状を示す。喘息発作を引き起こすこともある。特に乳児および幼児において、RSウイルスとともに季節性の下気道炎を起こす。ヒトラノウイルスは、風邪（普通感冒）の代表的なウイルスとして知られている。

○インフルエンザの患者からインフルエンザAH3（A香港型）4例、インフルエンザB 2例が検出された。

- 細菌（平成 23 年 3 月 8 日～平成 23 年 3 月 22 日までに検出）
報告はなかった。

■ 全国第 10 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 35.5 で、前週比 112%であった。今週増加した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 79,174 人（16.8）で、前週比 121%と増加した。山口県（44.0）、大分県（37.7）、愛知県（35.6）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 27%、6-9 歳が 39%、10-14 歳が 22%、15-19 歳が 2%、20-50 歳代が 9%、60 歳以上が 1%を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,064 人（0.69）で、前週比 115%と増加した。佐賀県（2.3）、宮崎県（2.2）、石川県（2.1）からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約 6 割を占めた。

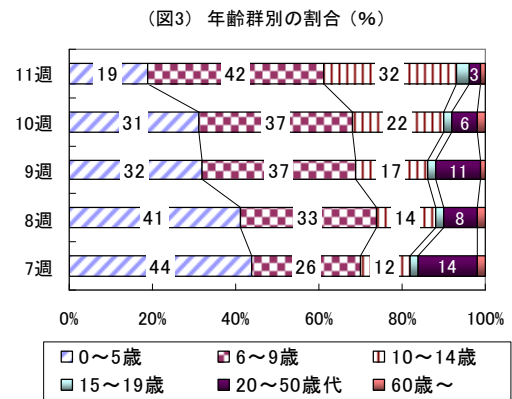
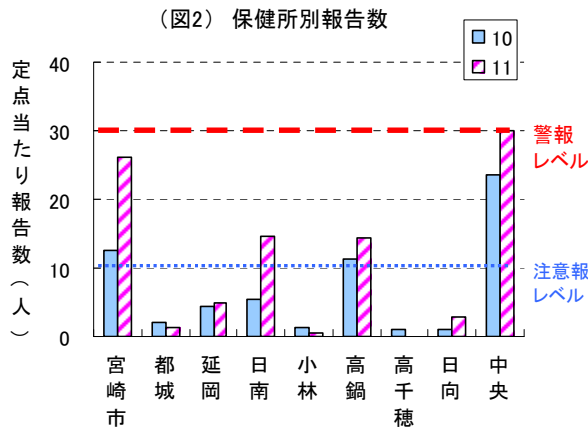
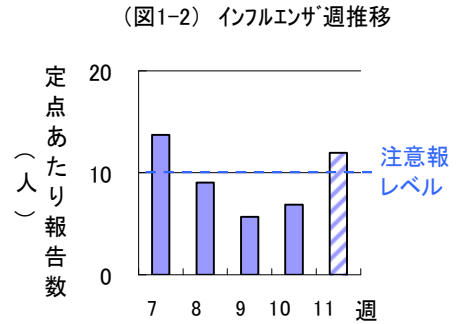
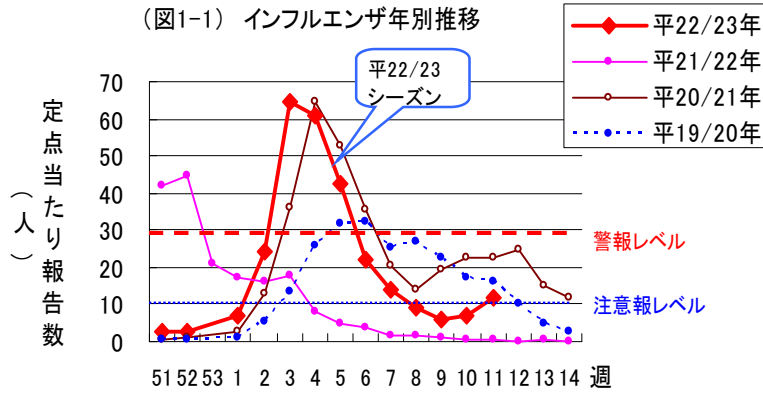
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 375 例
- 3 類感染症：細菌性赤痢 4 例、腸管出血性大腸菌感染症 6 例、パラチフス 2 例
- 4 類感染症：E型肝炎 1 例、A型肝炎 3 例、デング熱 2 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 3 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 17 例、梅毒 8 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 3 例、麻しん 4 例

■ インフルエンザ情報《県内第11週、全国第10週（再掲）》

□ 県内第11週インフルエンザ発生動向

平成23年3月14日～3月20日までの1週間で705人（定点あたり12.0）の報告があり、前週に比べ172%と大幅に増加した（図1-1,2）。中央（30.0）・宮崎市（26.3）・日南（14.6）・高鍋（14.3）保健所からの報告が多く、中央保健所管内では再度警報レベルに達した（図2）。年齢別では5歳以下が全体の19%、6-9歳が42%、10-14歳が32%、15-19歳が3%、20-50歳代が3%、60歳以上が1%を占めた（図3）。



保健所	今週 (第11週)		1週前 (第10週)		2週前 (第9週)		3週前 (第8週)		4週前 (第7週)		5週前 (第6週)	
	3/14~3/20		3/7~3/13		2/28~3/6		2/21~2/27		2/14~2/20		2/7~2/13	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	26.3	△	12.6	△	8.5	-	15.8	△	18.4	△	24.4	△
都城	1.3	-	2.0	-	2.1	-	3.4	-	8.7	-	19.0	△
延岡	4.9	-	4.4	-	7.6	-	7.9	-	15.9	△	26.3	△
日南	14.6	△	5.4	-	6.4	-	2.6	-	9.4	-	18.2	△
小林	0.4	-	1.4	-	2.6	-	6.4	-	14.2	△	31.8	○
高鍋	14.3	△	11.3	△	5.7	-	12.3	△	10.7	△	12.7	△
高千穂	0.0	-	1.0	-	1.0	-	3.0	-	7.5	-	6.5	-
日向	2.8	-	1.0	-	3.5	-	7.7	-	15.8	△	20.8	△
中央	30.0	○	23.5	△	12.0	△	7.5	-	15.0	△	29.0	△

□ 全国第10週インフルエンザ発生動向

平成23年3月7日～3月13日までの1週間で79,174人（16.8）の報告があり、前週比121%と増加した。山口県（44.0）、大分県（37.7）、愛知県（35.6）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の27%、6-9歳が39%、10-14歳が22%、15-19歳が2%、20-50歳代が9%、60歳以上が1%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第11週(03月14日～03月20日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	409	705	420	13	34	73	2	86		17	60
	定点あたり	6.93	11.95	26.25	1.30	4.86	14.60	0.40	14.33	0.00	2.83	30.00
RSウイルス 感染症	報告数	34	30	2	4	2	1		8	1	12	
	定点あたり	0.94	0.83	0.20	0.67	0.50	0.33	0.00	2.00	1.00	3.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	20	1	8	6	2				3	
	定点あたり	0.61	0.56	0.10	1.33	1.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	218	193	29	16	81	25	4	12	1	22	3
	定点あたり	6.06	5.36	2.90	2.67	20.25	8.33	1.33	3.00	1.00	5.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	730	776	149	176	38	90	147	81	12	67	16
	定点あたり	20.28	21.56	14.90	29.33	9.50	30.00	49.00	20.25	12.00	16.75	16.00
水痘	報告数	144	146	40	14	25	19		35		10	3
	定点あたり	4.00	4.06	4.00	2.33	6.25	6.33	0.00	8.75	0.00	2.50	3.00
手足口病	報告数	10	7	4					3			
	定点あたり	0.28	0.19	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	79	82	41	8	4	2	1	19	2	3	2
	定点あたり	2.19	2.28	4.10	1.33	1.00	0.67	0.33	4.75	2.00	0.75	2.00
突発性発しん	報告数	34	34	8	2	9	2	4	5		4	
	定点あたり	0.94	0.94	0.80	0.33	2.25	0.67	1.33	1.25	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数		2		2							
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2		1				1			
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	91	73	30	5	7	27	1			1	2
	定点あたり	2.53	2.03	3.00	0.83	1.75	9.00	0.33	0.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	16	13	2	1						
	定点あたり	1.00	2.67	4.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～11週)

2類感染症	結核	57例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例(2)				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	後天性免疫不全症候群	2例	梅毒	2例	破傷風	2例(1)
	風しん	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～11週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	16例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲